



HSK

やよい
弥生号

NO.148 2013.3.10号

Advocate

1973年1月13日第三種郵便認可 HSK通巻番号492号
 発行/2013年3月10日(毎月10日発行)
 編集者/我妻 武
 住所/〒063-0812
 札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F
 特定非営利活動法人 札幌・障害者活動支援センターライフ
 TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323
 H P <http://npolife.net/>
 発行/北海道障害者団体定期刊行物協会
 定 価/100円



研修雑感「80cmの緊張」

ヘルパーステーション 蘭結 管理者 笠井 衛二

先日、札幌市在宅福祉サービス協会南ヘルパーセンター所長の工藤博氏を講師としてお招きし、「ホームヘルパーの心得と実践について」と題した研修を開催した。

工藤氏は介護保険施行前より長年にわたりホームヘルパーの所長として現場で活動されており、蓄積された実践例を巧みに用いながらの研修は示唆に富み、興味深い内容であった。

工藤氏はヘルパーと利用者の関係を端的に「醒めた頭と熱き心」こう要約した。これが対人援助のキーワードだという。いくら熱心でも醒めた頭がなければ単なる暴走でしかなく、いくら冷静な頭でも強い思いがなければ援助にならない、と強く述べられていた。そのうえで、おごらず、へつらわず、こびを売らず、とした意識が重要で、具体的には80cmの関係つくりと示され、どんな人でも他人が80cm以内に入ってくると恐怖であり必ず身構える等防御体制となる。距離感0cmを望むのは恋人同士であり、利用者とヘルパーの関係では80cm以内はありえないのであり、利用者にとってヘルパーは友達でも、保護者でも、母親でもないのだよ、と明言された。

実際例として、こう続ける。

*鰯(カレイ)を買ってきてと頼まれ、3,600円の鰯を買ってきた。

*牛乳を頼まれたが、メーカーを聞き忘れたので、自分の好きなメーカーの牛乳を購入した。

これらは、介護者の考えが優先した例である。人とは、自らの身体、頭脳で自分の生活や思いを充足する。その方が楽しいからだ。それらを見無視した介護者の主観による援助過程は苦痛でしか

ない。なんであれ、介護者の主観による援助は、小さな親切大きなお世話、でしかない。

これらは、ヘルパーの活動中にも当てはまる。家事や介護に要する経費は、利用者の財産を用いている。水の一滴、電気の使用等、すべて利用者の経費となる。使用の際は必ず、許可を得るのが当然の行為である、と何度も繰り返し、日常に流されがちなヘルパーに喚起を促していた。

一時間半にわたる工藤氏の研修骨子は、利用者の価値観を尊重するというヘルパー意識の再確認であり、利用者とのでしゃばらない関係作り、組織に属する人としてチームプレイの徹底、であったと思われる。

ヘルパーステーション蘭結は、今年で開設10周年を迎える。蘭結は障害者援助が中心のためか、介護保険のような冷静なプランによる援助過程が弱いのは事実である。また介護保険の対象者は高齢であるが、障害者はヘルパーより若い場合もあり、母親的な介護が介入する余地もあるだろう。であるが、それは蘭結の問題であり、利用者にとって無関係である。基本に立ち返った援助、友でも、保護者でも、母でもない援助をしっかりと指向したい。

講師の工藤氏とは、札幌で最初のケアマネジャー組織の立ち上げに関わって以来の仲間であり、10年以上も色々と教えていただいているが、今回も簡潔明瞭だが手厳しくご示唆を頂いた。末筆ながら深く感謝したい。

今回の研修を通じて明快となった援助の原点について、蘭結としても目を逸らさずにこだわってゆきたい。

下水道科学館 冬のこども村 参加報告



「下水道科学館こども村での豚汁提供」

こころや 富橋 祐太

2月16・17日の下水道科学館の豚汁提供イベントを「たねや」「こころや」で担当させていただきました。会場の設営は施設の方のお力添えもあり、順調に行うことができ、余裕を持って豚汁引換券の配布を行うことができました。

券の配布中、寒くてブルブルと震えてくる瞬間もありましたが、さすが子どもは風の子。走ってきて元気に挨拶をしてくれて、その笑顔と声に私たちは心が温くなりました。

「ひだまり」特製の豚汁は大変好評で、食べ終わったお客様から「寒いから、少し濃いめですごく美味しかったよ」「もう一杯食べたいくらいだった」などのお声もいただき、とても嬉しかったです。

作業の連携もうまくいき、参加メンバー全員が上手く機能して、スムーズに配布ができました。先着の150名様への配布終了後もやや多めに用意していたので、まだ食べていない方への配布もできました。多くの方に喜んでいただけて本当に良かったです。

イベントへ来てくださった皆様、札幌市下水道科学館様このよう素敵なイベントを行う機会をいただきありがとうございました。



★ 下水道イベントに参加して

たねや 南 友康

2月16日に下水道イベントに参加しました。寒い中、緊張したまま豚汁のチケットを配りました。チケットを配り終わった後は、テントの中で豚汁をお客さんに渡しました。並んでる時は家族連れの人が多かったです。

13時に豚汁配りを終わってみんなであまった豚汁を食べました。おいしかったです。

1日中、寒い中でしたが頑張りました。



うね」と返しました。

別の小学生の男の子に「おいしかったよ」と言ってくれた時はうれしかったです。

その後、豚汁があまる事態になってしまい、館内でサービスして配っていました。

★ 下水道科学館イベントに参加して

こころや 児島 義秀

イベント内容としてはとん汁の引換券を配って、時間になったら引換券ととん汁を交換して渡すというのが今回の作業です。

私は2日目の引換券をもらって、枚数をとん汁をつぐ人に言うのを担当しましたが、人が多くなると次々と来るのでこの人の分言ったつけ?とか、家族で一枚ずつ渡されて『まとめて渡さんかい?』と思いつつ、笑顔で『ありがとうございます!ニコッ』みたいな感じでやってみました。とにかくとても寒かったです。

このイベントで、一番大変な作業を担当した、ひだまりのスタッフ、朝早くからとん汁作り、ご苦労さまでした。



★ 下水道科学館のできごと

たねや 石田 程哉

2月16日(土)に下水道科学館に行きました。当日は雪が降っていて「どうかな。」と思っていました。しかし、ちょうど10時から晴れて来て良かったです。



見学しにきていた、親子連れなどに券を配っていました。イベントもやっていて、その間は準備をしていました。

小学生の女の子2人に「時間だよ」と教えてくれて「ありがと

NPOライフと企業連携の事例 第1弾

民間企業 エコフィスジャパン株式会社と NPOのコラボで新たな環境事業の船出

ECOOffice JAPAN
エコフィスジャパン株式会社

昨年の10月から開始した2つ目の環境事業は、大型店スーパーの資源ごみ分別業務です。

現在は、就労継続支援B型事業所「共働サービスタねや」のメンバーとスタッフが業務に励んでいます。初めて迎えた年末年始には、予想を超える資源ごみの前に、一同茫然としたに違いありません。この私も老体に鞭打ち、何度かサポートに入ったのですが、その量の多さに、驚きと一種の興奮状態になったものです。

業務は朝の7時から夕方5時までですが、1日4名体制で、早出、日勤、遅出のローテーションで回しています。この数か月で随分業務にもなれ、事業系ごみの削減と分別の徹底、管理するディライトさんとの関係も良好になり、また障害者の働く姿を見たことの無かった店員さんたちにも、随分と理解が広まってきています。やはり、直接の関係が障害者への理解を得る最短の方法だと感じています。

この業務は、資源回収を本業とする札幌のエコフィスジャパン(株)さんとの契約で行われています。アドボケートの読者の皆さんは、この社名を覚え

ている方もいるかもしれませんが。昨年の3月30日、突然本部に電話が入り、「ライフに寄付をしたい」と

の申し出があり、翌31日に50万円もの寄付金を本部に届けて下さったのが、エコフィスジャパン(株)さんだったのです。

それを縁に、障害者就労支援や障害者雇用などについて、また環境事業等についてお互いに意見交換や交流等をしてしながら、今回の事業連携の実現となってきました。

先日、エコフィスジャパン(株)さんの新年会に招かれ、若い職員の皆さんをはじめ、オーナーである香川県に本社がある(株)松本光春商店代表取締役会長の松本寿一様にお会いする機会に恵まれました。その時の松本会長のご挨拶をお聞きし、その謙虚なお人柄と、話される言葉一つ一つに「職員を本当に大切にされているのだなあ」という思いの伝わる内容で、大きな感動と私の至らなさを改めて確認させて頂く貴重な経験ができました。この場を借りて心から感謝申し上げます。

今また、新たな事業に取り組もうと積極的に事業開発を進めているエコフィスジャパン(株)さんから、ライフと協働で「本格的な障害者の働く場の創出」に向けて連携していきたいという、嬉しいお話をいただいております。

障害のある人もない人も共に支え合って働く場をつくろうという、私たちの取り組みに理解を示してくださり、そのうえで事業連携を呼び掛けて下さるエコフィスジャパン(株)さんの想いに応え得る、NPOとしての人と組織づくりを進めていきたいと思っています。

これからも宜しくお願い致します。(石澤利巳)



※本原稿は、株式会社ナイスの了解を得て同社が発行している「なび」2月号より転載させて頂きました。

『年末に長女が産まれてボクもおじいちゃんになりました。30年前、脳性マヒの障がい者として生まれた長女が、母親になる日が来るとはその頃想像もできませんでしたし、率直に言って、前途は暗澹たるものではないかと不安でした。それが、地域の学校に通い出し、地域で働き始め、恋をし、嫁に行き、とうとう母になりました。同じ頃、西成の部落解放運動が蒔いた福祉の種は、次第に実り、花を咲かせ、長女を母にしてくれました。西成に福祉が実った30年でした。そんな地域に感謝し、その一員であったことを誇りに思います。さて、長女が今のボクと同じ還暦を迎え、ボクはこの世にいなくなるこれからからの30年、西成の解放運動は、この地域にどんな種を蒔くのでしょうか。部落解放同盟の前身は水平社ですが、まるでシーソーのように上下に傾いた社会を、水平線のようにしていこうとの思いが込められていました。以来、水平線の下の人々を水平線に押し上げていく解放運動をやってきて、成果を挙げてきましたが、まだ目的は達成していません。これからは、水平線の上の人々が水平線まで押し下がってくる力で水平線の下の人々を押し上げていく、そんな解放運動、社会運動が求められていると思います。社会貢献とか、協働とか、分かち合いとか、互助とか言われる概念ですが、ボクは、使



互助の種を蒔く

いこなされた「互助」が一番フィットしてる気がします。いわば、「互助の解放運動（社会運動）」にはセオリーもないし、経験も少ないので困難な運動になりますが、若い人が、きっとやってくれると思いますし、やって欲しいと願っていますし、ボクも微力ですが一緒にやっていこうと思っています。』

地域の新年会でのボクの挨拶だ。シーソーと水平線という比喻が適格かどうかは読者に任せるが、通常労働市場と中間労働市場、通常企業と社会的企業、はたまた正規と非正規、社会保障の受け手と担い手、部落の中の困難を抱える人と豊かな人等々の「互助」を意味しているつもりだ。同時に、

「水平の社会」という目標を永遠の彼方の「到達すべき社会」とするのではなく、現実的で、かつ進行形で、シーソーのように揺れ動くかもしれない緊張感のある社会像として描きたいと思ったからである。ボクも還暦を迎えて、運動の役職は退いたし、(株)ナイスの代表も近いうち退くが、「互助の社会運動」の種を蒔く仕事はやり続けたいと思う。仕事と報酬を半減させ若い人に譲り、車も酒も美食も控え、老後の医療費の負担増や年金受給額の減額に備えることを新年の抱負にしたいと思う。酒を断つと言いきれないところに意志の軟弱さが垣間見えるのだが…。

(株)ナイス代表取締役 富田一幸





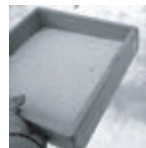
お米事業を一年終えて

こころやのお米事業が始まってから、1年がたとうとしています。最初は家庭用の精米機をフル回転させて精米していました。沢山の注文をいただくと嬉しい反面、精米機だけでは米ぬかを落とし切れず金網ザルにかけて振って落とす一日作業になっていました。

業務用精米機が来てからは、ぬかぎれもよく大量に精米できてより多くのお客様に販売することができるようになりました。少しはお米屋らしくなったせいこころや全体の意識も少しづつ変わっていき、お米の搬入や配達にも一緒に行くようになりました。

大通り地下歩行空間でのイベントにも参加し、多くの方とお話しをして低農薬米ゆめぴりかのPRが出来たこともとても良い体験だったと思います。

次の一年は、去年よりもこころやの美味しいお米をより多くの方へお届けできるようにしていきたいです。お取引先を拡大することや、これからもイベントなどへの参加して一人一人が活躍できる場所を増やしていきたいと思います。これからもこころやのお米をよろしくお願いします。



ともども新年会

川村 良一

新年会に行ってきた、よくみてのみたべたりしてきました。ライフの中どうしとたべてきました。

新年会のかえりにセイコーマートによって、のどあめをかっ。

こころやでともども新年会にさんかしたのは、オレしかなかった。



こころやについて

西野 悠斗

さいきんのして見たしごとは、へいわに言って米はこびをしました。

去年の2月から米のせい米をすることになりました。ふだんは米をとどけに行ったりせい米をしたりしました。

あとほかに去年の10月からせいそうしははじめました。あけぼの小でげたばことろうかのそうじをしました。

今年の抱負

笹尾 知弘

まだ、今年はじまったばかりだというのに、体調をくずしてしまいました。ですから、残り10ヶ月は風邪をひかず健康に過ごす。

すしは読んだことのない本を読む(小説など)



「これが僕たちの姿」にしたい...

山本 守一

僕たちは米の精米をしたり、紙を折ったり、帯止めをしたりして出来なかったことを出来るようになっていっています。そして作業がなくなったときには「きばりや」から「これ頼む」といわれて最近になって多くなってきて、真剣に取り組まないと出来ないことが分かりだし、中には途中で間違ったことをすると、それを見ている(監督)が「それ違う」と言ってくれる人がちゃんといてくれて、ここが僕たちの重要なところかもしれません。出来たといっても、検品するところで「おかしい」となると、いわれないようにしていきたいと思っています

早く「こころやでこれ!頼むぞ」といわれて、責任の持てる仕事が早くしたいと思っています。

そんな そんな「こころや」にしたいと思っています。

札幌市リユースプラザ

〒004-0003 札幌市厚別区厚別東3条1丁目1-10

TEL 011-375-1133 FAX 011-375-1155

札幌市リサイクルプラザ 発寒工房

〒063-0835 札幌市西区発寒15条14丁目2-30

TEL 011-662-7815 FAX 011-662-7816


<http://www.reuseplaza.jp/>

社会福祉法人「朔風」のみなさんが見学にきました

発寒工房 坂本 倫子^{ともこ}

1月24日(木)に社会福祉法人「朔風」から23名が見学にきました。

工房での見学の流れは、2階の会議室で大型ゴミのリサイクルについての説明などをした後、1階の工房内と事務所の中においてある完成品を見学するという流れになっています。

工房内は家具や自転車に使う工具や機械などが色々あるので、たくさんの人数で入ってしまうと危険なため、2

組に別れて交代で見学をしてもらっています。朔風のみなさんの感想は様々で、「塗料のニオイがくさい〜!」とか、「この椅子すわり心地いい!」とか「坂本さーん! よろしくー!」とか色々な声があちらこちらから聞こえてきました。(笑)

今回は、斉藤さんが見学者のみなさんに、自分の仕事のことや思うことを少しお話してくれていました。みんな少しずつ成長していったんですね! 素晴らしいことです。私も見習わないとな〜と日々思います。

まだまだ体調を崩しやすい時期ですので健康管理にはみなさん気をつけて頑張りましょうね!



みんなの前でお話する斉藤さん(中央)

☆2013年の抱負☆

リユースプラザ 工藤 昌幸

週2回パソコンスクールへ通っています。

実は父が挑戦したのですが…無念のリタイヤ。

そこで —————

◆パソコン活用のためボクが挑戦!

◆12月にはお手製の年賀状を送るぞ!

館長と西田さんが「デジカメを買って写真をパソコンで楽しむといいよ!」と〜強引に勧めてきます。

【リユースプラザお礼の声】

パソコンデスクをお買い上げ頂きました〜。まいどありい〜♪

リユースプラザ 澤田 茂則

母と住む自宅を改築します。完成予定は7月中旬! 現在間取りが決定したので、電気設備、水周りなどを打合せ中。家財道具を預けて、姉宅へ引越しの準備が始まります。

母と気持ちよく暮らせるよう頑張ります!



リユースプラザからのお知らせ

アカデミックセール開催!!

リユース家具を2〜5割引きで販売

2月15日(金)〜4月14日(日)

※但し学生証(高校生以上)の提示が必要です。
札幌市にお住まいの方限定です

★リユース冬まつり終了報告～★

リユースプラザ館長 松永 クニ子

去る2月23日土曜日快晴のお天気に恵まれ、平成24年度最後のイベント「リユースプラザ冬まつり」が無事終了致しました。

2月になってから土曜日の来館者数が100人そこそこだったのに、228名の方々が来て下さいました。今年は雪が多くて、リユースキリマンジャロが高く、そこにもじや西田彩さんデザインのリユース冬まつりのチラシのイラストを雪像で再現!! と準備していたのですが、21日の大雪で除雪が入り断念しました。

でも、急遽たくさんの「ゆきだるマン」でお出迎えを準備。今回は西田大作が得意とする「手づくりリユース楽器」が登場、土台を福江さんが廃材で作成し当日は子供たちが楽しく叩くフライパンの音色が響いていました。

とても冷え込んだ日だったので、ひだまり特製のとん汁、炊きたてゆめぴりかで体から温まる方々で市民工房はにぎやかでした。

フェアトレード商品に初めて触れる方々も多く、リユースイベントで知って貰うことの大事さも感じました。

ところで恒例の雪中アイスクリームづくりは、20数名のちびっこと一緒に蹴り「始めようゴミ減らしとリサイクル」のDVDを鑑賞後に、朝から仕込んで完成したアイスクリームを皆で食べました。

そうです、大人も試食♪来館された方々から「ありがとう!」「楽し

かった!」の嬉しい言葉を職員頂くことができ大満足のイベントとなりました。

駐車場の一角でごみ分別ゲームを開催!
3歳の男の子がちゃんと缶を分別してくれました～。すごいです!!



急遽たくさんのゆきだるマンでお出迎え



フライパンの手作りリユース楽器。子どもたちは楽しんで叩いていました。



楽しく蹴りながらの雪中アイスクリームづくり



改めてリユースでの役割を再確認

リユースプラザ 小野 克代

1月に伊達市で、コンポスター(入口直径36センチ)に落ちて老夫婦が亡くなる事故がありました。転落した奥さんを助けようとして、ご主人も出られなくなり窒息死した、という痛ましい事故でした。コンポスターに三角コーナーを誤って落として拾おうとしたことと、土を深く掘って設置していたことが原因のようです。

その関連でテレビ局よりコンポスターを貸してほしいと要請があり緊急出動しました。

テレビ局がタクシーを手配しコンポスターだけが座席に乗り込み出発し、不思議な気持ちでお見送りしました。ニュースでは、しっかり事故のようすの説明に使われていました。

リユースプラザではコンポスターの生ごみ堆肥化の説明の要望がありますので、このような痛ましい事故に繋がらないよう適切なアドバイスが必要だと、職員全員で確認をしました。

お使いの方はぜひ、もう一度設置方法を確認し、正しくご使用下さいますようお願いいたします。



出演したコンポスターです。
高さは65センチです。

アウトソーシングセンター 元気ジョブ

札幌市中央区南8条西2丁目5-74
市民活動プラザ星園103
TEL 011-596-6581
FAX 011-596-6582
E-mail: genki@hatarakutei.jp



『待望のバリアフリー対応市電の登場なんですけど...』

蜷川 聡

この春、札幌市電に待望のバリアフリー対応の3両編成の新型超低床車両が登場する。

札幌市電に新造の新型車両が登場するのは、実に28年ぶり（既存リフレッシュ新車両は登場しましたが…）の事であり、また札幌市電に連結車両が運行されるのは37年ぶりの事らしい。

2015年春に完成予定の西4丁目-すすきの間の市電ループ化も迫り、この新型車両が新しい札幌の足として、さらなる活躍が期待されています。

さて、このような超低床型路面電車が活躍しているのは全国で13路線。北海道では函館市電が先駆けて2007年から運行しており、全車両が超低床車両で運行しているのは富山ライトレールのみとなっています。私も富山ライトレールに乗車した事がありますが、停留所も車両も全く段差がなく、あまりの低い床の路面電車に感動したほどです。

実は、路面電車で超低床車両を一切使わず、全国に先駆けいち早くバリアフリー対応をした路線がある事をご存知でしょうか？

それは東京都電荒川線です。

都電荒川線のバリアフリー完全対応は1998年。15年前から車いす単独乗車可能の先進的な路面電車の路線なのです。超低床車両を使わず都電がバリアフリー可能になったのは実に簡単。普通の電車のホームと同じく、車輪の高さまで停留所が嵩上げされており、車いすの方は緩やかなスロープで停留所に入れます。また普通の電車と同じく車輪の上にフラットな床の車両で運行しているからなのです。

私はかつて都電が走る東京の大塚という街に住んでおり、車いすの方がスイスイと都電に乗る光景を何度ともなく見てきました。もちろんベビーカーとの乗車もスムーズ。通常の路面電車ではお年寄りが頑張ってよじ登るような路面電車特有の乗車スタイルではなく、ステップのない乗車が出

来るので、お年寄りの街でおなじみの巣鴨に近い庚申塚停留所はいつも込み合っています。

都電沿線に住んでいるといかに都電が車いすの方やお年寄りに愛されている路線かが分かるほどでした。

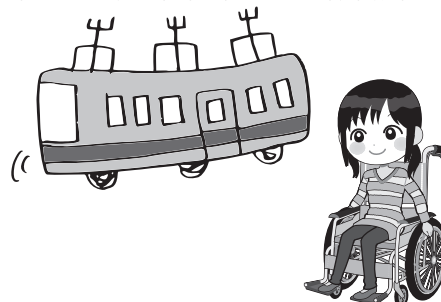
しかし、札幌の市電に目を向けると現状の車両や停留所では、車いすは乗車不可能。ベビーカーを乗せた乗車も現状では不可能に近く、お年寄りも高い段差に一苦労しないと乗車できない状況で、誰にでもやさしい交通機関とは言えません。車いすの方を考えるとまず、現状の停留所の狭い幅や段差では停留所にすら入る事は不可能。いくら超低床車両が運行されても停留所が現状のままでは車いすの方が単独乗車することは絶対に不可能です。

正直、「バリアフリー対応の新型超低床車両が導入されます」「市電がループ化されます」の情報は多く耳に入るのですが、「バリアフリー対応の停留所になる」という情報はなかなか聴こえてきません。

このままではせっかくの新型超低床車両に車いすの方が乗れないのなら、宝の持ち腐れになってしまいます…。

この新型超低床車両はこの春に1編成、さらにループ化される2015年春には2編成が導入予定となっています。

私自身、誰もがやさしいこの新型超低床車両の導入に大変期待をしています。それ以上に2年後の市電のループ化と同時に札幌市電の全停留所が車いす対応のバリアフリーの停留所になる事を切に願い、そして期待しております。





NPO法人 札幌・障害者活動支援センターライフ
共働サービス たねや
 〒063-0804 札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32
 テラ二十四軒1階
 TEL 011-613-0611 FAX 011-644-0088
 taneya@npolife.net

- ・出張販売
- ・配送業務
- ・チラシ折り
- ・封筒詰め作業
- ・箱折り・シール貼り
- ・清掃委託業務
- ・その他委託業務

『目標に向かって前進あるのみ!』

寺嶋 峰子

3月に入ると、卒業・新入学・就職と新しい旅立ちで気持ちをワクワクしている人も多い季節ですね!

たねやは、今年の目標として「声を出す」「声をかける」を掲げるようになりました。毎日、朝の会で挨拶の練習をしているのですが、なかなか活かされません。たねやの場合は、店に商品を出したり出張販売の準備を進めて行く中で、必要なことなので実行しましょうということになりました。声出しもそれぞれ個性が有り、店に合わない声を出したりすることもしばしば! これからのたねやが楽しみです。



☆ たねやがTVに出ます!! ☆



たねやが昨年から継続して参加・販売している「札幌お買い物deまちづくりプロジェクト」にTVの取材が入る事になりました! STVの「札幌ふるさと再発見」という番組で3月16日の11:54~11:59に放送されます。時間の都合の合う方はぜひご覧ください!

「お買い物deまちづくりプロジェクト」は3月も13日・14日・17日の3日間、札幌地下歩行空間の大通側の広場で開催されます。

障害のある人と働く4団体で販売しておりますので、是非お越しください!

ちなみに、同じ地下歩行空間の憩いの広場で3月11日・12日・13日の3日間、東北震災の被災者支援活動にも参加して販売を行います。こちらは東北の商品のみの販売となりますが、売上の一部が支援になりますので、どうぞお立ち寄りくださいませ!!

『清掃について』

高橋 洋幸

今年から新体制になりました。新たにメンバーが加わったりスタッフが変った事で、気づかないところが有ると、そこは清掃のメンバーやスタッフで協力し合ってその問題点などが有ると、ひとつひとつ直していきながら、新たに加わったメンバーとスタッフを含めて、一緒に頑張っていきたいです。

『協力して売上をあげよう!』

小野寺 宏基

去年いちごを作っていました。去年の末ごろに終わり、そしてすぐにたねやに戻り、昔やっていた、折りや帯とかをやっています。あと、いちごに行く前に

やっていた販売をやっております。

農業とは違い、販売は人に対して商品の説明とかが多いので販売のときに一言でも多く説明をしようと思います。軽作業の折りとかの方は、きれいに折って一枚でも多くやりたいと思います。

その他に、スタッフに聞かなくても仕事ができるように、少しずつメンバーと頑張りたいと思います。

売上を増やせるように、どんな意見を出していきたいです。



就労継続支援事業A型
共働事業所・印刷物版下制作・製本
・紙焼き写真のデジタル化
・ポストイン・DM発送
・その他の軽作業

きばりや

共働事業所 きばりや

〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F
TEL:(011)644-5533 FAX:(011)613-9323

Cafe de キバリヤ

〒060-0808 札幌市北区北8条西3丁目 札幌エルプラザ3F
TEL/FAX : (011)758-6533

事業所の壁～

所長 岡田 悟

先日、札幌市中央図書館に障害者事業所が運営する元気カフェ3号店目がオープンしました。非常に落ち着いた雰囲気の中でコーヒー1杯250円と低価格。これは繁盛の香りがします。

その影響か、Cafe de kibariyaに1本のクレームが入りました。『障害者団体が運営しているのに価格が高い』という内容。一昨年のコーヒー豆の高騰に伴いコーヒー1杯250円から280円に値上げをさせていただいたのは確かですが…。コーヒー1杯280円は高いのでしょうか?! ましてやお客様に提供する商品は誰が準備しても同じ商品になるよう工夫しております。これは、まだまだ障害者が働く事業所が越えなければならない壁は厚そうです。

とにもかくにも、障害者が働く事業所が増えていくことは喜ばしいことです。ぜひ皆さんで応援していきましょう。そして応援よろしく願いいたします。



冬のポスティング

加藤 信一

寒い中歩いていますと気持ちになえてしまって、下を向いて「とぼとぼ」と歩くことがあります。先日も「とぼとぼ」と歩いていましたら、下に「キラリ」と光るものが…。なんと50円玉ではありませんか!

「これはラッキー!」今どき50円で何が買えるというわけでもありませんが、下を向いて歩いていたらずいしていました。

昔「上を向いて歩こう」という名曲がありましたが「下を向いて歩こう」もなかなか良いものだなと思いました。いろいろな角度からものを見たいものですね。

色んな、仕事入ってほしい

星 ☆ 悠

新しい、仕事入って、ほしいです。シフトできる場があれば、僕も、安心できます。

理由は、病院行く日とか、行かない日も有ります。時間、よゆうもでてくるからです。

私が最近嬉しかったコト

カフェ 鈴木 昭子

最近の私は、カフェのエルプラザ館内での配達がちょっとずつ増え、その後もずっと忙しいので個人的には嬉しいです。

また、1階のワゴン販売でも、寒い日が続いているせいか、お客様からも「風邪に気をつけてね」とお声を掛けられたりもして、身体には気をつけなきゃ!と、とにかく何かあるたびに自分に喝を入れます。

とりあえず、健康に気をつけて働いていきたいと思っています。

～cafe de キバリヤより～

今月のおすすめ

☆ おだんごセット 250円

・ウーロン茶または五穀大黒茶から選べます。

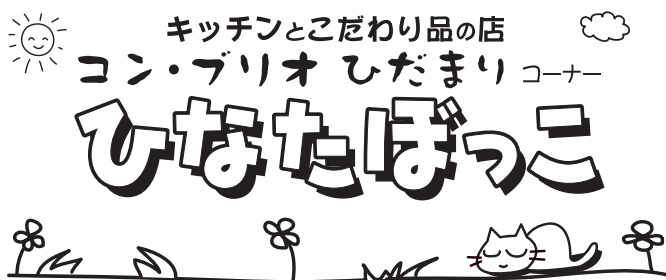
☆ ケーキセット 450円

・コーヒーまたは紅茶から選べます。



桃の節句を迎え、春が待ち遠しい季節。
カフェでは、春らしい桜だんごや、焼き菓子をご用意しております。

一足早い春の味をお楽しみください。



コン・ブリオ ひだまり

札幌市西区琴似2条3丁目2-37 サンハイム1階

TEL 615-4131 FAX 615-4132

E-mail : konburio@npolife.net

営業時間：月～木・土10:30～18:00 金10:30～21:00

休業日：日曜、祝日、年末年始

ヘルパーステーション 蕨結主催 『ヘルパー研修』に参加して～

佐藤 加奈子

2月6日の夜に、蕨結で行なわれたヘルパー研修に参加させていただきました。

私は福祉の分野に携わることはライフが初めてなので、ひだまりの料理分野のこと以外は見る・聞くことすべてが初体験というか基礎知識のない状態で働いています。知識があった上で働くことも大事だけど無い方が良いと言ってくれる方もいますので、そうなのかな…と思いながら自分なりに考えて過ごしている日々です。

先日共々新年会に参加した際に、ホテルの近くでロードヒーティングと、そうでない歩道のかなりの段差に苦戦して、立ち往生している車イスとあまり慣れていないであろう介助の方を見かけました。

すでに別の歩行者の方が手助けを行っていたのですが、その方々も車イスの扱い方がわからずにうまく雪道を通過できずにいました。

助けてあげたいなという気持ちは自然に湧いてきたのですが、今まで車イスを押したことさえ何度かしかなく“お手伝いします”とは容易に言えるほどの経験がありませんでした。福祉の世界にいるのにこれではちょっと情けない…と心中で感じていた矢先だったので、少しでも知識・経験を増やしたい…というこ

とから参加しました。

内容は経験豊富なヘルパーさんの体験談がほとんどで現場のお話が事細かに聞くことができ、とても新鮮で興味深いお話でした。また、3月にも開催される予定ということなのでスケジュールが合えば参加させていただきたいと思います。

☆ ひだまりニュース ☆

毎週金曜日恒例の 居酒屋“ひだまり”にて『たこ焼き』をはじめました!!

その場で焼いているオリジナルたこ焼きが

5ヶ ￥200(^o^) /

その日のメニューにあるかは、来店してからのお楽しみになりますが…
月1回は食べられます♪
ちなみに2/15の営業では用意していた分、全て完売しました…
ぜひ、ご来店お待ちしております!!



ともども新年会に参加して

松橋 勇祐

1月26日(土)に全日空ホテルで共々新年会に参加しました。今までにないくらい今回はバイキング形式でした。おかずやデザートがおいしかったです。パフォーマンスも楽しかったです。

また参加したいです。

熊谷 新

僕は、新年会に出ました。一番、楽しかったのはAKB48の「会いたかった」です。

来年は20才になって成人式とともに出し物もやりたいです。

by 看板息子より

余田 知広

新年会楽しかったこと。新年会で踊って見て楽しかったこと。新年会でたくさん食べたこと。新年会でジュースを飲んだこと。





ヘルパー派遣業務・在宅介護支援
ヘルパーステーション

ゆい
繭結

札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32 テラ二十四軒 1F TEL 011-623-2505 FAX 011-644-0088

—— 研修会「ホームヘルパーの心構えと実践について」に参加して ——

登録ヘルパー 田中 康寛

去る平成25年2月6日、財団法人 札幌市在宅福祉サービス協会 南事業所長 工藤博 講師により実施された研修会の内容を振り返りながら、私が考えるヘルパーの基本姿勢を考察する。

今回は、普段私たちがホームヘルパーとして活動するときの心構えを再確認する意味で90分間にわたり講義が行われた。内容は詳細を割愛させて頂くが、介護資格取得時に繰り返し学んだ福祉理念と倫理、対人援助の技術と演習が中心であり、ヘルパー資格のテキストに必ず載っている項目ばかりである。

何故、以前に学んだことを繰り返し学び直すのであろうか。それは、ホームヘルパーの実践である対人支援の場面で、私たち支援者であるヘルパーが、とすると忘れがちになる事項だからである。

私たちホームヘルパーは、日々、利用者の生活を支援している。そこには、「利用者の思い描く本人らしい生活の達成」を目的に様々な援助活動が実施されている「はず」である。

しかし、実際にはヘルパーの利用者に対する思いが先行して、「利用者本位」の援助とは懸け離れた行動をしている事があるように思う。これを「ヘルパーの自分勝手な行動」と一刀両断してしまえば簡単なのであるが、援助するヘルパーの気持ち自体は「利用者の為」と思って行動していると考えられるから問題となる。

では、このような利用者とヘルパーの支援感覚の乖離をいかにして解消すれば良いのだろうか。私は、やはりヘルパーが「利用者の思いと立場」を的確に把握することこそが最も重要だと思う。利用者本人ではない私たちヘルパーが利用者の思いを推し量るには、普段、利用者とのコミュニケーションで得られる情報の他に、その情報を分析して「利用者が求める生活」のビジョンを思い描く想像力も必要である。私たちヘルパーに求められる「利用者の思い」を感じ取る力は、普段の社会

生活に裏打ちされた豊かな人間関係構築の経験こそが、その基礎になると私は考える。また、「利用者の立場」には、利用者本人のみならず、利用者の御家族や周囲の人間関係、社会資源としての各機関等の状況も加味して検討しなければならないと私は考える。利用者も社会を構成する一員だからである。

結局、ホームヘルパーの活動は独りでは成立できないのである。確かに、実践における私たちの援助活動は利用者とヘルパーの一対一の関係で実施されている場合が多い。しかし、視点を拡げると、私たちの活動が決してヘルパー単独の行動ではないことが見えてくる。私たちは地域社会の一員であり、事業所であるヘルパーステーションの構成員であり、利用者の生活を支えるチームの一員なのである。それは、単独ヘルパーで一利用者を援助している訳ではない事を意味する。つまり、ホームヘルパーによる援助活動は、利用者に対する共通した援助感覚の下で意思統一されたヘルパーが、ヘルパーステーションを軸として『チームケア』で取組む事が基本なのである。この基本を踏み外すと、利用者や周囲の人々から「とあるヘルパーの自分勝手な行動」と見做され、チームケアが成立せず、利用者の生活を支援するどころか、その生活を脅かす行動になりかねないのである。(これを「ヘルパーの暴走」と揶揄する人もいるだろう)

繰り返して述べるが、ホームヘルパーによる支援は「チームケア」が基本である。その下地を作るためには、各ヘルパーが共通した支援意識と行動感覚が求められる。真剣に向き合うのは利用者だけでなく、ケアに関わるヘルパーチーム全体にも向けなければならない。そのためにも、話し合って意思統一を図る時間が必要であると私は考える。

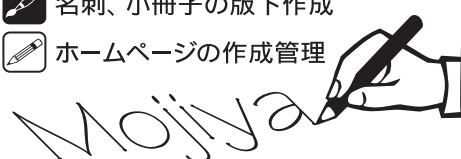
こうした時間が取れることを願いつつ。

以上



〒064-0808
札幌市中央区南 8 条西 2 丁目 5-74 市民活動プラザ 星園 104
TEL (011)596-6583 FAX(011)596-6584
E-mail:mojiya@npolife.net

-  印刷・編集・制作・出版・企画
-  テープ起こし
-  名刺、小冊子の版下作成
-  ホームページの作成管理



『メ切に追われ…』

所長 福田 義浩

メ切がせまっているのをわかっていて「原稿を書いてくれ」と岩崎君が言う。

「もっと早く言えよ。」と文句を言って書かない。

「早く書けとメールがきている」永島君が言うが、全く書く気が起こらない。

「早くした方がいいですよ」と中橋君が言ってくれるが、やる気がでない。

永島君と世間話をしていると「そんな暇があるなら、チャッチャと書けばいいじゃないですか」と西田さんが言うが、意地でも書きたくない。

平田さんに「困るのは自分なんだから」とほだされても、「その言葉、滝川クリステルに言われたかったな」などと言って言う事を聞かない。

鈴木麻依さんに見つめられても心が動かない。

人間が小さいと言われようが、大人げないと言われようが一向にかまわない。書きたくないものはだんとして、書きたくないのだ。誰が何と言おうと、嫌なものは嫌。書きたくないものは書きたくないのである。

…言葉を変えると書けないのである。皆にこんなに心配してもらっても全く頭が働かないのである。

いつもなら、弁当の取り合いをする真光君のあのシニカムな笑顔ですら、私を責めている気がする。

夜の蝶がおりるのを待ってススキノのネオンの下には何か題材になるものがあるに違いないと、飛び出してはみたけれど、たくさんの友達がでただけで、何も湧いてこない。

このままでは、“もじや”の名が泣くとばかりに、近所の神社にお百度参りで願をかけてみたが、アイディアのかけらもでてこない。それもそのはず、ここはお寺だ。

という訳で全く何も書けないのである。

誠に申し訳ない。



『最近の仕事』

岩崎 佑司

昨年10月に退院して以来久しぶりにアドボケの原稿を書いているような気がします。

ここ最近の仕事と言えば…何だっけ？………おおそうだ！石川さんと真光さんと一緒にふまねつと作りに携わっています。ふまねつとの効果とかその辺は多分石川さんと真光さんが説明していると思うので省かせてもらいますが、まあ僕もやり始めた当初は、(簡単に作れちゃうんでしょ?)という感じにしか考えていなかったのですが、一緒になって作業をしていると、接着剤ははみ出すわ、斜めにゴムロールをカットしていびつな形になってしまうわ、検品の時に焦って変なところに接着剤をつけてしまうわハプニングの連続でしたが、今では、自分たちのペースで無理せず、少しでも良いものを作ろうと3人仲良く努力しています。

まあこんな感じで今日も3人仲良く黙々とふまねつと作りをしています。これからも、体に気をつけて頑張っていきます。

はじめの一步
(ウオーミングアップ・ステップ1)

8			
7			
6			
5			
4			
3			
2			
1			
	A	B	C

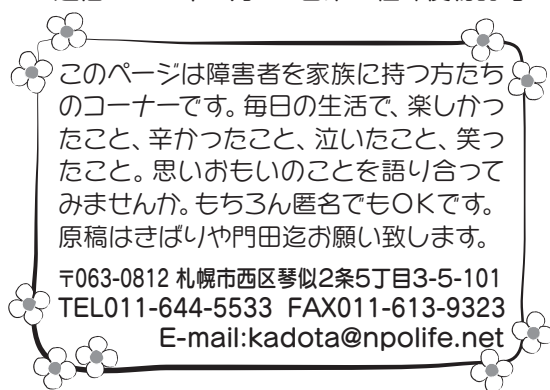
『もじやに入って7年』

もじや工場 平田 信也

私かもじやに入って早いもので7年が経とうとしています。もう7年も経ったのか～というのが正直な感想です。

少しは、スキルアップしているかな？と思っているのですが、恥ずかしながらスキルアップしていないというのが現実です…。自分なりに考えて一つひとつの作業を行っているのですが、なかなかうまくいかず、怒られている方が多いような気がします。

これからもスキルアップをめざし、スピードアップしていけるように体調に気をつけながら頑張っていきたいと思っています。



…※……※……※…… バリアフリー?? ……※……※……※……

札幌市 佐々木 智賀さん

我が家は旦那、私、小4の娘、2歳の息子の4人家族である。

旦那は重度身体障害者（字だけ見るとものすごい障害者に見えるが…）7歳のころに若年性リウマチになり、入退院を繰り返した後、施設生活をし、40歳から自立生活。あしの会（当時札幌市小規模作業所）のボランティアの私と出会うこととなる。

（自立する前に一度、施設利用者とボランティアとして10年前に顔を会わしていたことがあった。）

その頃は電動車イスに乗ってはいたが、片杖をつきながら歩くことができていたので、普通乗用車でドライブなんかも連れて行くことができていた。

なんだかんだで交際2年で、結婚することに!!（こう見えても13歳の年の差夫婦なんですけどね。）

私は障害があっても、不自由なことがあってもちょっと声をかけて手を借りることで、何でも乗り越えられると楽天的な考えを持っていた。

ある時狸小路の5丁目あたりの地下にいく映画館に突発的に見に行きたくなり（しかもジブリ(笑)）初めは映画館の職員さんに頼み、この重たい電動車イス（本人の体重も含め140キロぐらい）を持ち上げてもらい、地下に降りて映画を見て、終了後は職員が1人しか残っていなかったの、見に来ていたお客さんに声をかけて男性5人で運んでもらった。やってみるものだ!

他にもいろんなエピソードがある。由仁町にある「あぜっこ」という名のおにぎり屋さん。おいしいおにぎりとお惣菜を目当てに何度か足を運びました。



初めはスロープがあったにも関わらず細く狭く入ることができなかった入口が、半年ぶりにいくと、スロープと意識した形ではなく、なだらかな入口のデザインに変わり、とても入りやすくなっていた。

ジギスカン屋さんでも入口に2段の階段はあるものの、定員さんが素早く対応し、車イスを持ち上げてくれ、店内にスロープがついていたので食事することはスムーズにできた。

ただ、こういう形のスロープが何の為にあるのかわからないつき方をしているところも多いのが現実だ。入口に大きなスロープがついているにも関わらず、店内は全席掘りごたつになっていて、車イスのままでは食事ができないところなど…。

そしてこの何年かで数々の変化をもたらしたのは北海道神宮。結婚してから家族ができ、初詣や七五三、電動車イスで神宮でのお参りをする際に、神宮正面から左側に木製の簡易式の長ーいスロープがあった。ただとても急で手動の車イスでは介助側には負担が大きかった。特に冬場の足場が滑りやすく危険を伴うので改善方法は…?とと思っていた翌年に、なんとスロープが危険だと判断され撤去されていた。その年は仕方なく、バイトのお兄ちゃんや警備の方たちに声をかけて持ち上げてもらうことに…。ところが持ち上げ方に問題ありで、車イスのカバーの部分を壊されてしまった。苦情を言うべきか迷ったが、神宮に「なぜスロープをなくしてしまったのか」と強く抗議してきてしまった。翌年めげずに神宮へ向かうと、今度は社務所側になんとエレベーターが設置されており、裏側からスムーズに入ることができた。我々だけでなく、高齢者や車イス利用者のニーズが多いからであろうと感じた。

さらに翌年のこと、夏場は正面にも以前に増して長ーいスロープが設置された。

まだまだエピソードはあるが、言えることは自ら動かないと変わらないし、自分たちに限らず利用し

やすくバリアを取ってもらうためには、自分たちが動かないと気付いてもらえないということ。

何度も足を運んだラーメン屋さんは、どうしたら入りやすくなるかを考えて工夫してくれるようになった。ちょっとした事だけどものすごくうれしい!!

と、まあこれからも佐々木家は無理そうなところでも出向いていき、利用できるところを増やしていくつもりである。

この考え方は子供たちにも引き継がれているの

で、とても頼もしい戦力である。

旦那と知り合って、車イス利用者の家族がいることでのサービスを受けられることもなかなか経験できないことのひとつなんだと感じ、そのことが特別なことではなく、いずれ老いていく自分自身の生活にも何かしらのヒントとして、役立てることができ体験なのだと考え、これから自立をしようと悩んでいる人たちがいたら声をかけてあげられる、そんな佐々木家でありたいと思っているのであった。



おそろべしオカン

こころや 児島 義秀

この前、オカンから「お前、いつ言語障害治った？」という訳のわからんメールが入ってきた。とうとうボケたか？と思い『そう簡単に治ったら苦労せんわ。もし治るとしたら死ぬ時だな!』と返すと「だよなあ？さっき障害のない息子から電話がきて、金ないから振り込めって言われてさあ! (笑)」というものだった。詳しく聞いてみると、オレオレ詐欺だったらしいんですが、さすが、オイラのオカン! 笑かしてくれた。内容はこうだった。

ある日、オカンの家に一本の電話が鳴った。出ると「母さん、俺だけど元気だった？」というものだったらしい。本物オイラは、母さんなんて呼ばない!

オカン:『どこにおかけですか?』

偽オイラ:「やだなあ、母さんおれだよ!」

オカン:『よっちかい?』(気づいてたが暇だから遊んでやった)とのこと。

偽オイラ:「そうそう、最近風邪ひいて声おかしいんだ。」

オカン:『あらあ?大丈夫かい?ちゃんとあったかくして(このとき、真夏日!)薬飲んで寝なさい!で、どうしたの?』

偽オイラ:「うん…言いにくいことなんだけど、仕事でお金がどうしても100万必要で…」

オカン:『年収3億あるあなたが100万ごときで泣きつくんじゃないありません!』

偽オイラ:「……………」

オカン:『って言ってみたいわ!』

偽オイラ:「えっ?……………」

オカン:『私の息子は障害があって言語が不自由なの!あんたが息子じゃないのはすぐわかったよ。体の不自由な息子が働いてんのに、五体満足のアんたは何をやってるの?』

偽オイラ:「……………」

オカン:『詐欺なんてやめて、まともに働けるんだから、こんなこと二度とやるんじゃないよ?わかった?』

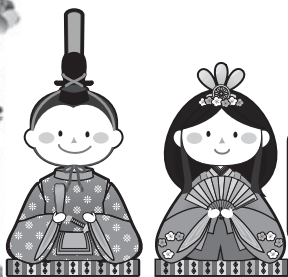
偽オイラ:「はい…………、ガチャッ、プープープー…」

ということだったらしいんです。オカンがオイラに『あんたが言語障害でよかったわあ!』と言った。負けじとオイラも「だろう、感謝しろお?」つつう感じのわらいばなしでした。

今回の教訓「言語障害者の親にはオレオレ詐欺は通じません。

Byよっち





ライフで共に働く 障害者メンバー募集中♪

就労継続支援事業Ⅲ型

たねや

♪♪ たねやで一緒に販売してみませんか!?



たねやでは店舗販売・出張販売・清掃委託業務・軽作業を行っています。

店舗では「体に優しい」食品や手づくり雑貨を厳選して販売。現在は販売に力を入れていることもあり、接客に興味がある人は特に大歓迎です。その他、清掃や軽作業に興味がある方も是非下記までご連絡ください。

一緒に自分に合った仕事を探しませんか!?



※毎日元気に出勤できる方優遇
♪♪ 問い合わせ:011-613-0611
担当 村上・奥井



就労継続支援事業Ⅲ型 **こころや**

あなたのところに!! 私のに!!
『こころや』です。

『こころや』では下請け作業やお米の卸し・販売の仕事を通じて、個性豊かな仲間たちが、時には面白く、時には真剣に仕事に取り組んでいます。

一緒に働いてみたいという方はもちろん、見学だけでも構いません。

ご連絡お待ちしております。

問い合わせ:011-614-1871
担当 小黒・岡田



就労継続支援事業Ⅲ型

ひだまり



コン・ブリオひだまりでは、店内で提供するお料理とテイクアウトや従業員用のお弁当を作り、笑顔で接客し、体に優しい商品を売っております。

現在、メンバー12人とスタッフ3名で一生懸命楽しく働いております。

料理が出来なくてもスタートはみんな一緒です! みんなが優しく教えてくれます★

一緒に働いてみませんか??!

ご応募お待ちしております!!

問い合わせ:011-615-4131
担当 小野寺・佐藤



私たちと一緒に
楽しく働きませんか!!

NPO 法人 札幌・障害者活動支援センターライフ



ゆめぴりか

地方発送 承ります!!

限定30袋

最近、おいしいとTVでも取り上げられている北海道米。

お米マイスターが本年度イチオシの品種と評した最高級米ゆめぴりかを地方発送いたします。

大切な方への贈り物、大切なご家族やご自分へのご褒美に安心安全な北海道米はいかが？

9kg 3,980円(税別)

(税込価格 4,179円)

分づき米とは？……

栄養価
たっぷり!!

玄米と白米の間のお米で、両方の良さを味わう方法が「分づき米」。玄米の栄養素と白米の美味しさの“いいとこ取り”の分づき米が、今大きな注目を集めています。

白米と比べるとビタミン・ミネラル・食物繊維を豊富に含んでいるため栄養面でも優れています。

※ ご要望に応じて玄米、分づき米(7分)、白米まで精米いたします。

精米したて!!……

新鮮!!

ご注文をいただいてから精米し、即日発送いたします。精米したての新鮮なお米をご賞味下さい。

本田農場生産の……
低農薬栽培は？

除草剤・イモ子防除剤 各1回のみ散布して栽培しています。

低農薬米?
安心・安全!!



申 込 書

※ ご要望に応じて玄米から白米まで精米いたします。

送り主	住所																			
	氏名																			
	TEL		FAX																	
送り先	住所																			
	氏名																			
	TEL		のし(要・不要) ・要の場合()																	
白米	9kg	袋×4,179=	円	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">配送地域別送料</th> </tr> <tr> <td>北海道</td> <td>420円</td> </tr> <tr> <td>東北</td> <td>840円</td> </tr> <tr> <td>関東・信越</td> <td>900円</td> </tr> <tr> <td>東海・北陸</td> <td>950円</td> </tr> <tr> <td>関西</td> <td>1,050円</td> </tr> <tr> <td>四国・中国</td> <td>1,260円</td> </tr> <tr> <td>九州</td> <td>1,320円</td> </tr> </table>	配送地域別送料		北海道	420円	東北	840円	関東・信越	900円	東海・北陸	950円	関西	1,050円	四国・中国	1,260円	九州	1,320円
配送地域別送料																				
北海道	420円																			
東北	840円																			
関東・信越	900円																			
東海・北陸	950円																			
関西	1,050円																			
四国・中国	1,260円																			
九州	1,320円																			
分づき米	9kg	袋×4,179=	円																	
玄米	9.9kg	袋×4,179=	円																	
小	計	袋	円																	
				※沖縄・離島は別途お問い合わせ下さい																

FAX(011)613-9323

数量に限りがございますのでお早めにお申し込み下さい。

お支払い方法 (番号を○で囲んで下さい)

1. 現金 (代引きはお取り扱いしておりません)
2. 銀行振込

振込先 札幌信用金庫 琴似支店(普)

口座番号 4297231

特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ

こころや 理事 我妻 武

(振込手数料はお客様負担となりますのでご了承下さい)

※発送は入金後となります

総合計(品代+送料)

円

..... お買い求め・配送のお申し込みは



こころや

札幌市西区琴似2条5丁目3-5マンションMOM01F

TEL:011-614-1871 FAX:011-613-9323

ライフの事業所 ころや在籍の岡林満美(おかばやし みつよし)さん執筆 NPOライフブック 待望の 第3段

絶賛発売中

障害者として生まれた満美。

話すことも、自由に動かすことも出来ない手足で
自殺まで考えた彼が今、

『生きていて幸せだ。』と言えるのは…

岡林満美、渾身の一冊、**ぼくたちだって人間だ!!**



**CD 岡林満美
僕たちの小さい命
同時発売!!**

NPO ライフブックレット No.3

2012年8月31日発行

『ぼくたちだって人間だ!!』

定価 800円(送料別)

A5 判 134ページ

2012年8月31日発売

『僕たちの小さい命』

定価 300円(送料別)

※ 同時購入 1,000円(送料別)



私たちは「福祉」という言葉を好まない。それは、「福祉施策」を必要とする人たちを見下したときに使われることが多いように感じられるから…

本来『「人間福祉」であるべき「福祉」が、今、「制度としての福祉」になりさがっている』という社会福祉法人この実会の加藤孝さんの言葉に触発され、『さっぽろ人間福祉ブックレット』を発行する。

NPO ライフブックレット No.2 2008年8月31日発行

『収容施設はもういらないと思うまで』

A5 判 72p 定価 840円(送料別)

社会的排除からインクルージョンへ 経済の民主主義と公平な分配を求めて



**危機の時代こそ
新しい考えを試す好機!
社会的事業所促進法を!**

日本発
共生・共働の
社会的企業

定価 2,100円(送料別)

編者 NPO法人共同連

2012年9月10日発行

195×135 240 p

震災復興は雇用の創出から いまこそ社会的事業所の出番です!

社会的困難を抱える人たちとの「共働」をめざす、「社会的事業所」制度の法制化は急務であります。

社会的事業所とは何か?

その理念と実践の取り組みが解りやすく語られています。

NPO ライフブックレット No.2 2011年6月30日発行

『誰もが働ける社会を』

A5 判 140 p 定価 1,000円(送料別)

●ブックレットのお申し込みは ——

NPO法人札幌・障害者活動支援センターライフ

札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションモモ 1F

TEL:011-633-6666 FAX:011-613-9323

mail:honbu@npolife.net HP:http://npolife.net/

紙焼き写真からのデジタル化

きばりやで新しい仕事を始めました～

ここ12～3年はデジカメが主流で、写真もデータで残っていると思いますが、それ以前の写真は残っていますか？
みなさまの大切な思い出の紙焼き写真や、アルバムをデジタル化しませんか？



1枚 30円から

写真をデジタル化するとこんなに良いことが…

その①

「お子さまの写真」や「幼少時代」、「入学式」、「卒業式」、「成人式」、「結婚式」…など、紙焼き写真やポラロイド写真などアルバムに残された思い出を、色褪せないようずっとキレイに残すことができます。

その②

結婚式に流れる「生い立ちムービー」や、退職する方へ贈る「退職記念ムービー」等、過去の紙焼き写真をみんなで眺めることで、眠っていた記憶から新たな感動が生まれる機会も増えています。

その③

写真デジタル化をすることで、整理整頓も簡単になり、バックアップとして別の場所に保管することで、災害による消失などに備えることができます。

その④

家庭用プリンターで印刷することや、親戚やお友達にメールで送ることもできます。フォトフレームに入れておじいちゃんおばあちゃんにプレゼントも!!

料金について

基本料金	+	デジタル化料金	+	追加オプション	+	消費税	+	送料	=	合計請求額
------	---	---------	---	---------	---	-----	---	----	---	-------

基本料金 DPF-HD800 500円(税別)
(CDもしくはDVDの代金を含みます)

デジタル化料金
(1)バラ写真…30円
(2)ポケットアルバム写真…50円
(3)その他(A4より大きくA3まで)…100円
※デジタル化料金については予告無しで改定させていただく場合がございます。

オプション
・写真修正…傷写真修正、赤目修正、背景消し、合成写真など…100円～
・スライドショー制作…3,000円
・メディア複製
(CD、DVD…500円、SDカード…1,500円、USBメモリ…1,500円)
・デジタルフォトフレーム付納品
一例として
ソニー DPF-HD800
[8.0型 デジタルフォトフレーム・ブラック・ホワイト]…14,780円
ソニー DPF-D720 WI
[7.0型 スワロフスキー・エレメント デジタルフォトフレーム ホワイト]…15,600円

▲DPF-D720

送料
＜お客様から弊社まで＞
送料はお客様ご負担となります。配送状況の確認できる方法をお勧めします。
＜弊社からお客様まで＞
お届け先と荷物のサイズによって異なります。佐川急便にてお届けいたします。
送料はお客様ご負担となります。

1万円以上お買い上げのお客様は、納品の送料を無料にさせていただきます!

写真加工も承ります!!



たとえばこんなことも出来ちゃいます。

ご注文・お問合せは～

011-644-5533

共働事業所 きばりや

門田(かどた)まで

〒063 札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F
0812 TEL:(011)644-5533 FAX:(011)613-9323
e-mell:kadota@npolife.net

協力ありがとうございます

寄付金

松浦 美知子 様 児島 義道 様 織本 英子 様 我妻 武 様 匿名希望 様

賛同会費

杉岡 直人 様 高井 健男 様

ありがとうございます

アドボケイト購読料

ワーカーズコープ札幌 現田 友明 様 松浦 美知子 様 石川 佐和子 様 水口 洋次 様

私のオススメ

「命と存在を支え合うー相楽福祉会の理念と実践」

廣瀬 明彦(社会福祉法人相楽福祉会理事長) 著

専務理事 石澤 利巳

著者の廣瀬明彦さんとは、昨年の4月24日から3日間、札幌市内の事業所回りの案内役として同行させて頂いた縁ですが、1歳上の廣瀬さんは、初めての出会いにもかかわらず、合った瞬間お互いに「前にどこかで会いましたよね」と言うほど、親近感を感じさせて頂いたことを覚えています。

本書「命と存在を支え合う」は、京都の社会福祉法人相楽福祉会の職員向けに、病魔と格闘しつつ書き綴った廣瀬さんのメッセージですが、30年間にわたる障害のある人と共に生きる、共に働くことを問いつけた実践とその教訓は、私たちが日々の活動にかまけて忘れがちな「共生」の原点を思い起こしてくれるものです。著者の人柄がにじむような優しい文章ですが、30年という歴史の中での様々な苦悩がひしひしと伝わってくる、「共感」という言葉では言いつくせないものを学ばせてくれる貴重な一冊です。

いくつか「廣瀬語録」を紹介します。

・私の命と障害のある人の命には、何の違いがあるわけではなく、「一回限り」であるという共通項が確かな橋を築いてくれているようです。わけのわからない「自立」にむけて、望みもしていないのに定義も定かでない「指導」を受け続けるという命にはいけないと強く思います。

・人はサービスのみで生きているわけではありません。切り売りされ始めた「福祉サービス」もまた、そのみでは人の命と全存在を支え合うことにはならないでしょう。

関わるということ。支え合うということ。互いに一回限りの命を生きているということ。そのことを考えずに「サービス」という割り切りをすることに躊躇しつづけたと思います。

そして最後に、

・生活のしづらさを変えていくことだけでなく、何気ないようでも、生きていくうえで大切なモノと一緒に探し出していけるような支援者になれたらなあと思います。まだまだ、頑張らなくては…。

と書き記しています。

廣瀬明彦さんは、今年の1月29日に逝去されました。心からご冥福をお祈りし、本書を関係者すべてにお薦めします。



発行所 (有)Sプランニング
定価 1200円(税別)
ライフにでも取扱中

～ライフカンパのお願い～

NPO札幌・障害者活動支援センターライフでは、設立して24周年(法人化して13年)を越えたところですが、これまで何か行動を起こす時に目標を設定してカンパのお願いをしてきました。しかし、この2,3年皆様方にライフ運営資金のためのカンパをお願いしてきています。ここ数年続く世界的な不況で仕事量は減っており、ライフの運営が厳しくなっていることも事実です。そこで、大変恐縮ですが、ライフの運動に共感する皆様方からの応援を是非ともお願いしたいと思っています。

編集後記

いつもなら雪まつりが終わり、ひな人形が片付くと春が近いと実感できるのだが、今年はいささか違う。ともかく降雪量が多かった。主要道路も除雪された雪で歩道に壁ができたりするし、車イスも歩き難かった。「お宅の除雪した雪をきちんと片付けろ」などといった隣近所の除雪問題も多かったようだ。独居の高齢者にとっても大変だったと思う。ボランティアで除雪活動をしている方々も本当に今年は大変だったと思う。幸い札幌は中心部に出かけるとロードヒーティングのところもあるし、地下歩道もあるから気晴らしに出かけることもできるが、それ以外の地域になると我慢を強いられる。しかし、それももう少しの辛抱。(タケ)

◆ 振り込み先

北洋銀行
加入者名

琴似中央支店 普通預金 4606735
特定非営利活動法人
札幌障害者活動支援センターライフ
理事長 我妻 武

札幌信用金庫
加入者名

琴似支店 普通預金 3296744
特定非営利活動法人
札幌障害者活動支援センターライフ
理事長 我妻 武

ゆうちょ銀行
加入者名

振替口座 02710-4-63485
NPO札幌・障害者活動支援センターライフ

アドボケイト 弥生号(第148号)

2013年3月10日発行(毎月10日発行) HSK通巻第492号

1973年1月13日第3種郵便物認可

発行人/北海道障害者団体定期刊行物協会
細川 久美子

〒063-0868 札幌市西区八軒8条東5丁目4-18

編集人/NPO法人札幌・障害者活動支援センターライフ
理事長 我妻 武

〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5マンションモモ1F

TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323

E-mail honbu@npolife.net

ホームページ http://npolife.net/

郵便振替口座 02710-4-63485

定価 100円